

タンペレ大学/ フィンランド共和国

Tampere University/ Republic of Finland

大学紹介

1925年に設立された首都ヘルシンキに次ぐフィンランド第2の都市タンペレにある総合大学である。College of Civicsをその前身とし、元は公務員養成が主の公的機関であった。英語で行われる授業も理系・文系を問わず多い。

学事日程

春学期: 1月～5月/ 秋学期: 8月～12月

WEBサイト



Tampere University

学べる学問

人文科学、情報科学、経済学・経営学、教育、医学、社会学

留学条件

学部2年以上

TOEFL iBT : 87-109、IELTS: 5.0-6.5

※英文学、翻訳: iBT 110-120、IELT 7-8

留学体験

留学中は、主にジェンダー学の知識を深めるとフィンランドの文化やイベントに多く触れることを目標に過ごしていました。勉強面では、Global politics of gender やFinnish society and cultureなどの授業を受講しました。また、卒業研究の一環として、フィンランドの学生8人に対して性別役割分業に関するインタビュー調査も行いました。日本人にも同じ質問項目のインタビュー調査をして、分析をしていく予定です。課外活動としては、AIESECという団体のプログラムを通じて、アゼルバイジャンでのボランティア活動をしました。ジェンダーという概念があまり浸透していないアゼルバイジャンという国で、ジェンダーの概念を伝えるセミナーを開くという大変貴重な経験をすることができました。文化面では、サウナはフィンランド発祥ということもあり町中や湖のそばにあるだけでなく、アパートの建物にも付属していて気軽に利用することができます。湖のそばにあるサウナでは冬でも水着姿で湖に飛び込んでいました。(2018年度交換留学派遣 文教育学部 人間社会科学科 グローバル文化学環 4年)